



第二工場（1000tプレス）

- 本社所在地：三重県員弁郡東員町瀬古泉508番地
- 事業概要：金属プレス加工事業
- 常時使用する従業員：53名
（2026年3月時点）
- 現在の売上高：45億円
（2025年7月期）
- 法人番号：9190001013387
- Web：https://www.asahikinzoku-kuwana.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
坂井 薫夫

基本理念：地域社会と顧客価値創造に貢献できる会社を目指す

当社は「良き企業市民として地域社会との調和と従業員の和を大切に、多くの方々から愛され信頼される企業を目指す」という社是のもと、自動車部品を中心とした高精度金属プレス加工を通じて地域産業の発展に貢献してまいりました。今後は電動化が進む自動車産業の変化を好機と捉え、超高張力鋼加工技術の高度化と生産体制の強化により、2032年に売上高100億円企業への成長を目指します。この成長を通じて、顧客に対しては高品質かつ付加価値の高い製品を提供し、地域社会には雇用創出と産業競争力の向上で貢献します。また社員一人ひとりが成長を実感できる職場環境の整備と待遇改善を進め、誇りを持って働ける魅力ある企業づくりを実現してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

当社は2032年に売上高100億円、営業利益率10%を達成する。高張力鋼（ハイテン）加工技術を核に、第4工場建設および3000t級超大型プレス機導入によりBEV・航空機向け高付加価値部品の生産体制を確立する。さらに金型修理の内製化と自動化推進により技術蓄積と生産性向上を図り、年率約9～10%の持続的成長を実現する。

課題

自動車業界の電動化進展により部品高度化・軽量化が急速に進む中、高張力鋼の加工技術と生産能力の更なる強化が不可欠である。一方、金型外注依存によるコスト増加やリードタイム長期化、熟練技能の属人化が収益拡大の制約となっている。内製化と自動化による競争優位確立が急務である。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

1. 大規模設備投資

- ・第4工場建設（耐振建屋）
- ・3000t級超大型プレス機導入
- ・ハイテン専用ラインの構築

3. 市場拡大

- ・BEV向け軽量構造部品
- ・航空機向け高強度部品
- ・次世代輸送機器分野への展開
- ・溶接事業への参入

2. 生産性向上・自動化

- ・金型設計・製造内製化
- ・自動搬送・AI検査・梱包装置導入
- ・無人稼働時間帯の拡大

実施体制

経営主導型体制

- ・代表取締役を統括責任者とする100億推進本部設置
- ・工場長・技術部長・営業部長を中核とした横断体制

専門部門強化

- ・金型内製化チーム新設
- ・自動化・DX推進担当配置

外部連携

- ・設備メーカーとの技術連携
- ・地域企業との協業体制構築

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現の目標と道筋

- ・当社は、自動車産業の電動化や軽量化ニーズの高まりを成長機会と捉え、超高張力鋼（ハイテン）加工技術を核とした高付加価値製品の生産体制を強化することで、2032年に売上高100億円の企業への成長を目指す。
 - ・特に、BEV向け軽量構造部品や航空機関連部品などの難加工材分野において競争力を高めるとともに、第4工場建設および3000t級超大型プレス機導入により生産能力を大幅に拡大する。
 - ・また、金型修理の内製化と自動化設備（自動搬送・AI画像検査等）の導入を進めることで、生産性向上と品質安定を実現し、営業利益率10%の高収益体質を構築する。
- これらの取り組みにより、年率約9%前後の持続的な売上成長を実現し、地域産業の発展と雇用創出にも貢献していく。

売上高

